



# としょかん し こてん ひ 図書館で知ろう 「古典の日」

11月1日は こてん ひ 古典の日 です。

古典に  
親しむ日!



むかいくん

そうなんだ!  
でも「古典」ってなんだろう?

## こてん ひ こてん 古典の日における「古典」とは

文学、音楽、美術、演劇、伝統芸能、演芸、生活文化、  
学術や思想など、昔の日本で作られたり、伝えられてきた  
文化のことです。長い間、多くの人に受け継がれ、今でも  
私たちに大切な学びや楽しみを与えてくれます。  
(参考:「古典の日に関する法律」)



しまちゃん

「古典」といえば文学のイメージだったわ。  
他にもいろいろあるんだね!



「古典」のことをもっと知りたいな。  
図書館で調べてみよう。



## 【図書館で「古典」のことを調べるには】

### ① 参考図書を読んでみる!

百科事典や専門的な知識の本を使って調べてみましょう。



こんな本があったよ。さっそく調べよう!

所蔵場所	別置記号	請求記号	書名 (著者 出版社)
児童		910/ニ	『日本の古典大事典』 (加藤 康子/監修 あかね書房)
児参	R	77/デ	『伝統芸能 ポプラディア情報館』 (三隅 治雄/監修 ポプラ社)
児童		72/チ	『鳥獣戯画と絵巻物 日本の文化を発信!』 (山本 聡美/監修 あかね書房)

※別置記号が「R」の本は図書館の中でだけ、読むことができます。(貸出はできません)

### ② 本棚を見て探す!

本の背表紙には、【請求記号】(分類・カタカナの図書記号(作者名またはシリーズ名などの頭文字)・巻番号)のラベルがついています。

910

分類↑

この数字を見ると、何の本なのかがわかります。  
91からはじまる番号なら、「日本文学」の本です。  
図書記号と巻番号は書かれていないこともあります。

分類→  
図書記号→  
巻番号→

910
キ
2

910
キ
3

3段のラベルを使っている  
図書館もあるよ!

ふちが青いラベルは一般(大人)向け、  
ふちが赤いラベルは子ども向けの本だよ。  
本棚の場所がちがうので、館内の案内図  
を見てみてね。





向島図書館の本棚でこんな本を見つけたよ。  
絵本やスイーツでも古典を楽しめるんだね!  
たくさんシリーズが出ている本もあるね。

所蔵場所	別置記号	請求記号	書名(著者 出版社)
児童	E	Eタ	『たかこ』 (清水 真裕/文 青山 友美/絵 童心社)
児童		38/マ	『古典がおいしい!平安時代のスイーツ』 (前川 佳代/著 穴戸 香美/著 かもがわ出版)
児童	E	Eブ	『ぶす』狂言えほん シリーズ既刊8巻 (もとした いづみ/文 ささめや ゆき/絵 講談社)
児童		809/コ/2	『子ども版声に出して読みたい日本語 2 柿くえば鐘が鳴るなり』 シリーズ全12巻 2巻では「俳句」を紹介しています (齋藤 孝/編 草思社)
児童		913/ク	『やくやもしおの百人一首』 (久保田 香里/作 坂口 友佳子/画 くもん出版)

※別置記号が「E」の本は絵本コーナーの本です。

### ③ 図書の検索機で調べる!

「古典文学」「伝統芸能」などのキーワードや、古典作品のタイトルを、図書館にあるOPAC(図書検索機)やWEB-OPAC(インターネット図書検索機)で検索して本を探してみましょう。



似ている意味の別の言葉でも検索してみよう。

ご自宅のスマホやパソコンを使って、京都市図書館のホームページで本を探すこともできます。

「トップページ>調べもの・相談」のページから京都に関する図書リストや、中央図書館が作成したパスファインダーを見ることができます。



「万葉集(日本の古典文学)」が参考になりそう!

また、図書館内ではオンラインデータベースを使うことができます。  
いろいろな辞書・事典を検索できる「JapanKnowledge Lib (ジャパンナレッジ・リブ)」を使って、気になる古典作品を調べてみましょう。



ところで、どうしてこの日が「古典の日」なのかな？



11月1日は『源氏物語』のことが歴史上はじめて書き記された日らしいよ！

『源氏物語』の作者・紫式部の、寛弘5年11月1日（1008年12月1日）の日記には「若紫」（『源氏物語』に出てくる人物）などの名前が書かれています。

## むらさきしきぶ かん ほん 「紫式部」に関する本

所蔵場所	請求記号	書名（著者 出版社）
児童	910/ム	『紫式部へタイムワープ』（歴史漫画タイムワープシリーズ） （イセケヌ／マンガ、チーム・ガリレオ／ストーリー、河合 敦／監修 朝日新聞出版）
児童	913/ク	『チーム紫式部!』（楠木 誠一郎／作 酒井 以／絵 静山社）
児童	910/ナ	『読んでおきたい日本の古典』 （中西 進／監修 成美堂出版）

『源氏物語』や『枕草子』などの古典文学の名場面をイラストと現代語訳で読むことができる本です。



1000年以上前の人々が作ったお話を今でも読めるってすごいね。古典って奥が深いなあ。

京都市図書館には古典に関する本が他にもございます！  
カウンターでお気軽にお声かけください。  
向島図書館にない本でも、他の図書館の本をご予約いただいで取り寄せることができます。